

令和8年度 教育委員会 第11回定例会 議案

1 日 時 令和8年9月2日（水） 午後1時30分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

（1）開 会

（2）報告事項

（4）閉 会

第11回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
報告 事項 1	理系人材育成事業	P1

理系人材育成事業について

(高校教育課)

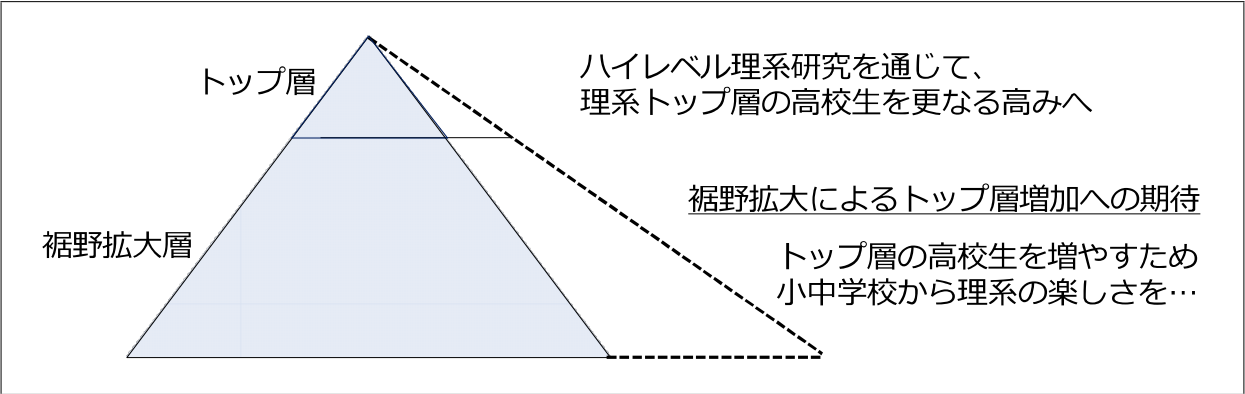
(要旨)

本年度新規事業（予算額：40,000千円）である理系人材育成事業について、取組状況を報告する。

(概要)

1 事業概要

日本全体で理系人材は不足しており、特に理学・工学分野での女性の人材不足は深刻である。将来的に理系分野で活躍する静岡県出身の技術者・科学者の育成に向けた、高校生トップ層による高度な研究と小中学校段階からの裾野拡大に向けた取組を行う。



2 事業内容及び取組状況

(1) ハイレベル理系研究

ア 事業内容

社会実装を目指した高校生グループによるハイレベル理系研究を募集、10グループを採択し、伴走支援（活動支援及び企業等アドバイザーによる指導助言等）を行う。

イ 採択グループ一覧

学校名	研究テーマ
韮山・松崎	(2校合同研究) 桜葉産業活性化プロジェクト：高付加価値な桜葉生産の社会実装
沼津工業	地域課題の解決と地域意識の向上を目指した自然 共生型コミュニティ 建築の研究
富士宮北	富士宮市の鳥被害を減らそう
清水東	AI 骨格推定と IMU センサを用いた走り幅跳び動作の三次元解析と最適跳 躍条件の探索
科学技術	自分たちでつくる「安全、安心な通学路」

焼津中央	ゴーストギア削減に向けた駿河湾におけるナイロン製釣り糸の生分解に関与する微生物群の探索と分解能評価
藤枝東	「茶殻」の再資源化による地域循環型農業および生活環境改善モデルの構築
浜松南	消波ブロック配置の最適化による津波高波の被害軽減
浜松城北工業	製造現場の人手不足解決を目指した産業用ロボットのシステムインテグレーション研究～機械科・電気科の協働による実装～
浜松学芸 (私立)	地域環境リスクの科学的可視化による野生鳥獣との共存社会実現～野生鳥獣も人も安心して暮らせる地域を目指して～

参加生徒人数：92 人 女子生徒人数：35 人 (38.0%)

ウ 取組状況及び今後の予定

日 時	項 目	内 容 (案)
7 月 25 日 (土) (実施済)	キックオフイベント	・ グランシップで開催された「TECH BEAT Shizuoka2026」に参加 ・ ハイレベル理系研究事業説明 ・ 参加企業等による講演 ・ 参加企業のブース等見学・体験
11 月 1 日 (日)	中間報告会	・ 各グループの発表に対する助言 ・ 研究の方向性修正や連携先開拓につながる個別相談 ・ 講演、ワークショップ
1 月下旬以降 (日程調整中)	理系研究 E X P O	・ 審査委員会で優勝等を決定 ・ 審査委員長は知事 ・ 事前に研究発表を動画で提出 ・ 午前にポスターセッション、午後に審査会 ・ 社会実装をテーマとした講演会、ワークショップ等の実施 ・ 表彰式、優勝チームのプレゼン、講評（今後の研究継続に向けたフィードバック）等

(2) ロールモデル講演会

区 分	内 容
対 象	小中学生、高校生、保護者、教員 各会場 100 人程度 計 300 人
日 程	11/3 (火) 東部、11/23 (月) 中部、12/13 (日) 西部 ※体験型科学イベントと同一日で開催予定
内 容	・ 女性の研究者や技術者だけでなく、起業家、新規事業担当者、地域企業で活躍する実務家など、理系研究がどのような仕事や社会的役割に繋がるかを具体的に示す。 ・ 著名人で児童生徒の興味関心を引き出しながら、身近で活躍する人たちにも登壇してもらい多様なキャリアを示す。 ・ 講師は、県内の女性経営者等と今後調整。

(3) 体験型科学イベント

区 分	内 容
対 象	・ 小学校低・中学年 1 講座 30 人 ・ 小学校高学年、中学 1・2 年生 1 講座 30 人 計 360 人
日 程	11/3（火）東部、11/23（月）中部、12/13（日）西部 ※ロールモデル講演会と同一日で開催予定

具体的内容

①小学校低・中学年向け

目 的	「触れる・試す・つくる」を中心に、科学の面白さを体感し、理系への興味・関心を育む。
講 座 例	・ AI ロボットと遊ぶ ・ 光・音・磁石などの不思議実験 ・ 3D プリンターやレーザーカッターを用いて模型制作

②小学校高学年・中学 1・2 年生向け

目 的	先端技術や地域課題を題材に、「考える・解決する」体験を通じて、理系進路につなげる。
講 座 例	・ AI・プログラミング体験 ・ 衛星画像を活用した環境分析 ・ ドローン・スマート農業体験 ・ センサー・IoT を使ったものづくり

(4) 公益財団法人山田進太郎 D & I 財団との連携

ア STEM 領域のツアー型体験プログラム (Girls Meet STEM)

概 要	県内企業の見学、仕事体験、女性ロールモデルとの意見交換を実施
参加対象	中学 1 年生から高校 3 年生の女子
参加人数	148 人
開 催 日	8 月 18 日（火）～ 8 月 24 日（月）
開催企業（8 社）	株式会社静岡銀行、静岡ガス株式会社、理研軽金属工業株式会社、ヤマハ株式会社、株式会社大川原製作所、浜松ホトニクス株式会社、ヤマハ発動機株式会社、ジャトコ株式会社

イ 出前講座 (STEM Week 2026)

(ア) 概 要

県内企業の STEM 分野で働く女性社員が学校を訪問し、キャリア講演を実施する。生徒が STEM 分野の社会的な役割や仕事の魅力を知り、理系キャリアを身近に感じることで、将来の選択肢を広げることを目的とする。

(イ) 実施校等

	実施校	協力予定企業	実施予定日
1	河津町立河津中学校	株式会社静岡銀行	10 月 15 日（木）13:10～14:00
2	函南町立東中学校	株式会社静岡銀行	12 月 3 日（木）13:20～14:10
3	磐田市立福田中学校	浜松ホトニクス株式会社	10 月 15 日（木）11:30～12:20
4	県立三島北高等学校	株式会社静岡銀行	9 月 14 日（月）15:10～17:00
5	県立静岡城北高等学校	理研軽金属工業株式会社	10 月 16 日（金）11:30～12:30